

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	133児童・生徒の健康と安全の確保		
施策のねらい(めざす姿)	すべての児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	狩谷 昭夫

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	児童・生徒の安全安心な学校生活のため、さらなる学校給食の充実及び通学路の安全対策を実施する。	③改革・改善内容	児童・生徒が安全な学校生活を送れるよう、学校や地域の方々の要望を踏まえ通学路等の安全対策を実施するとともに、学校給食では地産地消食材の拡充及びアレルギー対策の最終段階である小麦除去を実施する。
②①に基づく取り組み結果	学校給食については、卵・乳除去から29年6月から落花生、さらに30年6月からえび・かきの除去食提供を行った。通学路整備については、行動計画に基づき各種ハード・ソフト事業を実施した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校児童・生徒	意図(対象をどうするのか)	市内小中学校の児童・生徒が、心身ともに健康で安全な学校生活を送ることができている。
②施策の概要	児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送るため、安全安心な学校給食の提供や、通学路整備、各種健康診断などを実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	アレルギー対応食(除去食)の提供については計画どおり実施できているが、新たな要望として、給食内容の充実、地産地消食材の拡充がある。通学路整備については、行動計画に基づき実施しているが市民要望が依然として多い状況である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	学校給食については、卵・乳除去から落花生、からえび・かきの除去食提供を行い、最終段階である小麦除去の除去食の提供に向けて準備を行った。通学路整備については、行動計画に基づき各種事業を実施できた。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	学校災害件数の割合	%	6.3	6.0	5.7	5.0
	ii	子ども安全メール登録者数	人	5,543	5,528	5,471	7,000
	iii	学校給食残菜率(※平成26年度より計量方法の変更あり)	%	22.7	20.3	17.9	12.0
③基本事業成果指標	i	学校定期健康診断受診率	%	96.0	96.3	95.0	100
	ii	災害共済給付申請率(学校災害発生件数の割合)	%	6.3	6.0	5.7	5.0
	iii	「こども110番の家」協力者数	件	1,330	1,341	1,375	1,340
	iv	子ども安全メール登録者数	%	5,543	5,528	5,471	7,000
	v	学校給食アレルギー対応品目数	品	3	4	6	7
	vi	学校給食残菜率(※平成26年度より計量方法の変更あり)	%	22.7	20.3	17.9	12.0
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)	令和元年度予算			
事業費(千円)	988,428	992,878	(単位:円)	9,077円	1,055,012		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	学校給食については、給食内容の充実、地産地消食材の拡充についての要望がある。通学路整備については、行動計画に基づき実施しているが市民要望が依然として多い状況である。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	学校給食アレルギー対応品目数等は目標達成の見込みであり、その他の指標については、目標達成に向け概ね向上している。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑拡充
②上記方向性の説明	通学路の整備については、市民要望も多く、多額の経費が必要であるため、通学路安全対策事業とともに重点化する必要がある。
③特に重点化する事務事業	通学路整備事業